

新基地建設反対名護共同センターニュース

沖縄のことは うちなーんちゅが決める 名護市のことは なごんちゅが決める



2018年元旦。辺野古の浜では稲嶺ススム市長や赤嶺政賢衆院議員、糸数慶子参院議員、名護市議会与党市議、へり基地反対協代表など380人が参加し、「初興（はちうく）し」が行われました。快晴で見事な日の出のもと新年を寿ぎ、ニライカナイの海に感謝の御願（うがん）を捧げ「辺野古新基地建設阻止」の確固たる決意を共有しました。三線に合わせかじゃで風節など琉球舞踊、全員で合唱、稲嶺市長のあいさつなど続き、全員でカチャシーを踊り、心をついにしました。

明けましておめでとーございます
 子どもたちに平和と豊かな自然残す正念場の年



写真上は元旦、辺野古の浜でのかじゃで風節の踊り、右はティダ（太陽）に祈りをささげる稲嶺市長など（しんぶん「赤旗」提供）。左と下の写真は6日のゲート前集会でのスナップ。



稲嶺市長に大きな歓声、ススムコール 今年初のゲート前土曜行動に600人余

オール沖縄会議は6日、今年初の第1土曜行動をキャンプシュワブ前で行い、県内外から600人余が参加しました。稲嶺ススム市長が登場すると集まった人々から大きな歓声とススムコールがわき上がりました。稲嶺市長は「沖縄のことはうちなーんちゅが決める。名護市のことはなごんちゅが決める。市長選には絶対に負けれない」と挨拶しました。オール沖縄の衆参国會議員、県統一連、へり基地反対協代表などが挨拶。「名護市長選を必ず勝利し、新基地を造らせない」と決意と団結を固めました。



志位委員長迎え「オール沖縄」ススム必勝市民集会 12日、名護市で県統一連とやんばる統一連が共催

多彩な弁士が訴え

県統一連とやんばる統一連が共催、稲嶺進後援会が後援し、日本共産党志位和夫委員長を迎え、オール沖縄の「稲嶺ススム必勝市民集会」を開きます。全県各地から貸切大型バスが出ます。最大の参加で成功させ、稲嶺ススム市長3選を必ず勝ち取りましょう。

とき／1月12日（金）

午後6時30分

ところ／名護市民会館

大ホール（1000人規模）



話す人

- 稲嶺ススム名護市長
- 翁長樹子知事夫人
- 玉城デニー自由党幹事長・衆院議員
- 照屋大河社民党県連委員長・県議會議員
- オール沖縄会議共同代表
- 伊波洋一参院議員
- 糸数慶子参院議員
- 名護市議会与党市議団
- 日本共産党志位和夫委員長

※バスの運行は最寄りの共産党議員などにお問合わせ下さい。